

月刊

ORANGE SUNSHINE

4

2025 Vol.50

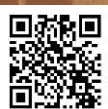
あかつき

- ・あかつき
- ・追いコン
- ・新歓状況
- ・常笑気流



RS HOME

TEAM SPONSOR LINK



アイフル
ホーム徳島



WAKACHIKU

若築
建設

制作者：高橋彩、古谷真祐美

あかつき結果報告

3月14日～16日にかけてあかつきカップに参加しました。1回生チームでは「考働」というチームスローガンの元1年間ラクロスに向き合ってきました。1回生チームでの全国大会出場の経験はメンバー全員にとって価値のあるものとなりました。しかし全国7位という結果に終わり、目標としていた決勝トーナメント進出はできませんでした。今後は先輩方とともに中四国制覇に向けてさらに精進してまいりますので、引き続きご声援よろしくお願いします。

GAME RESULTS			
 vs 中京	1-2 lose	 vs 東北合同	3-3 even
 vs 東北合同	1-3 lose	 vs 北海道	1-3 lose
 vs 青山・学芸	1-1 even		

コーチコメント



佐藤尚哉（27期）

まず初めに、日頃より徳島大学男子ラクロス部を応援してくださっているOBGの皆様、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。特に、今大会においては、当日の応援やライブ配信を通じて多くの方々にご支援いただき、31期一同大きな力をいただきました。本当にありがとうございました。

この3日間の試合を通して、9月・12月の新人戦の時と比べ、選手たちが大きく成長した姿を見せてくれました。全国の強豪と戦う中で、相手との技術の差やラクロスIQの差を痛感する場面もありましたが、それ以上に、これまで自分たちが積み上げてきたラクロスの形が通用し、確かな自信へとつながった大会だったと感じています。

1年間を通して「考働」というテーマを掲げ、単なる練習の繰り返しではなく、選手一人ひとりが主体的に考え、練習や戦術を理解し、仲間にその熱意を伝えていく、そうした文化がチーム内に根付きました。その結果、試合の中でも自分たちで状況を判断し、柔軟に対応する力が身についてきたと実感しています。選手たちが成長し、チームとしてのまとまりが強くなっていく姿を見ることができ、コーチとして本当に嬉しく思います。

また、この1年間の活動を振り返ると、選手たちはラクロスの技術だけでなく、一人の競技者として、そしてチームの一員として大きく成長しました。試合の中で声を掛け合い、ミスをしてもお互いに励まし合いながら、最後まで全力でプレーする姿は、これまで積み上げてきた努力が実を結び、チームとしての成長を実感する瞬間でした。こうした姿勢が今後のチームの土台となり、さらに強いチームへと成長していくことを確信しています。

最後になりますが、今後も31期のさらなる成長を温かく見守っていただければ幸いです。引き続き、よろしくお願いいたします。

コーチコメント

チーム立ち上る際はあかつきで他地区に一勝を目標に1年間活動してきましたがあかつきでは勝たせてあげることができずコーチとしての不甲斐なさを感じました。

自分が1年生の時はどんな感じやったかを振り返った時に今の子達と比べるとやる気もなくやっていたなと思います。コーチという立場であるので厳しく言ったこともあります。一年生の中からしっかりラクロスに打ち込んでいる姿を見てると尊敬しかありません。来年度はDFコーチとして上回チームに関わり今後も彼らの成長を支えたいと思います。



木戸考就（27期）



佐和誠史（27期）

まずは2024年度一回生チームをご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました。

雨の中、多くの方に応援いただき、チーム一同気を引き締めて試合に臨むことができました。

選手たちは全国と同世代と戦う中で貴重な経験を積み、徳大ラクロス部が多くの方の支えによって成り立っていることを実感したと思います。

これからは成長していく31期を応援する立場として見守っていきます。たくさんラクロスを楽しんで、もっと上手くなってください！

1年間、本当にありがとうございました！

コーチコメント

まずは1年間1回生チームを支えてくださった保護者の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

ウィンター終了から3ヶ月、全国大会あかつきに出場しましたが、予選2敗1分、交流戦1敗1分と、課題の残る結果でした。グラボアの寄りや切り替え、パスキャッチにおいて全国との差を実感しましたが、1on1での突破や得点など、光るプレーも多く見られました。課題は次への糧に、良いプレーは自信にしてほしいです。

1年間、皆さんの成長を近くで見られたことはかけがえのない経験でした。本当にありがとうございました。



赤塚真人（27期）



吉田翔（27期）

中四国ウィンターが終わってから3ヶ月が経ち、全国の舞台あかつきカップに参加しました。

昨年度の1勝を超える目標を立てましたが、1勝もできない結果となりました。コーチとして勝たせてあげられなかった点は悔しく思います。

しかしまだ1回生の今は通過点に過ぎません。3年後彼らの代のfinalの舞台で笑えるように努力してほしいと思っています。今大会の結果をバネに大きく成長すること期待しています。

PLコメント

今回のあかつきでは決勝リーグ進出が目標だったのにもかかわらず、一勝もすることができずとても不甲斐なく思っています。ですが、この1年一緒にやってきた仲間と最後にこういった大会に出場することができてとても嬉しく思います。本当にラクロス部に入ってよかったです。このあかつきの悔しさを忘れずに今年度のリーグ戦を戦っていくので応援よろしくお願いします。

(#17/AT/廣瀬悠真/2年)



一回生最後の大会となるあかつきはとても楽しく、とても悔しい大会になりました。僕たちの目標は決勝リーグに進出することでしたが、結果は一勝もできませんでした。ですが、全国レベルの相手と戦うことで得られるものも多くとても成長できました！一回生としての活動は終わってしまいましたが、リーグ戦も先輩と頑張っていきたいです！

(#39/SSDM/木本晟太郎/2年)

追いコン

3/23(日)にひいきやにて追いコンが行われました。

花束贈呈やPV鑑賞、当時の1回生コーチや上回生コーチの方からのコメントなどがあり、たくさんの笑いが絶えない会でした。また、毎年恒例の1.2回生による出し物では大変盛り上がり会場が笑いの渦に巻き込まれていました。

4回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。進学される方や就職される方、徳島を離れられる方など、環境が大きく変わってしまいますが、徳島大学男子ラクロス部での思い出を忘れず、また時間がある際には徳島に戻ってきていただけると嬉しいです！待ってます！



新歓状況

今年度の新歓ではサマー2チーム出場、ウィンター単独出場を果たすために、PL30名、TS8名の入部を目標とし、新歓係を中心にミーティングを行いました。

今年度も昨年度と同様、2週間で目標人数を達成できるよう、現役全員がイベントの企画に携わり、全員で新歓に積極的に取り組んでいます。

現在、PL13名、TS2名が入部を決めてくれています。

引き続き目標を達成できるよう気を引き締めて頑張っていきます。



4/1.2に行われた集いの様子

Yamauchi Kodai

山内滉大

Next...

余吾暁(21期)

(21期)



常笑気流



【学生時代の思い出】

ラクロス部の思い出は色々ありすぎて到底書ききれませんが、僕にとって毎日が楽しくて夢中になれた4年間でした。「部活を通して人間的に成長する」なんてことをよく耳にするかと思いますが、私はそんなことには微塵にも興味がなく、一回だけの大学4年間、本当に自分が楽しいと思うスポーツで結果を残し、最高の仲間、先輩、後輩と楽しい日々を過ごしたい一心で続けました。結果としてはFINALで負けてしまいましたが、間違いなく私の人生にとってかけがえのない思い出になったと思います。どうか現役の皆様もラクロスというスポーツを好きになって、最高の4年間を過ごしてくれると幸いです。柄でもないまじめな文章を書くに恥ずかしい…

【近況報告】

卒業後、医療用医薬品の卸売業の会社に勤務し、営業職で日々働いております。一年半前に徳島から愛媛に転勤となり、今は今治市で働いています。ラクロス部で養った異常なバイタリティとフットワークの軽さを生かし、相も変わらず釣りと酒と色々な遊びに呆けております。そろそろ大人にならないといけなそうですね。皆さんはこんな大人にならないようにね！次は我らが偉大なキャプテン余吾にお願いするとしますか！